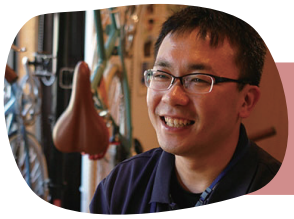
9月号
September

協力隊の色とりどりの活動をお伝えします！



窪田 純一
Junichi Kubota

大正地域振興局　道の駅「四万十大正」の運営サポート

気になるものから名物に

道の駅は色んな方が利用される施設です。初めて利用される方、地元の方、食事に来られる方、サイクリスト、トイレ休憩等々…、その目的も様々です。「道の駅　四万十大正であいの里」を利用される方に少しでも興味をもってもらえるよう、掲示物や料理の写真に力を入れ始めました。

具体的には、お店の入口に店名を表示した暖簾（のれん）を設置し、今年から新設されたトイレにも食堂への案内板を設置しました。また店内には一番人気の「うなぎの石焼まぜご飯」のおいしい食べ方を貼ってみました。接客時に説明しなくても食べ方をお客様に伝えられるようになったことで、接客の効率化を図ることができました。従業員の皆さんにとって、お客様からの「これ美味しそうだから頼んでみよう」という声がモチベーションに繋がっているように感じます。

暖簾はであいの里のイメージカラーです

そして、まだ試行錯誤中ですが、メニュー表にも変化をつけてみました。例えば、初めて訪れるお店で「オススメ」と大きく表示されている料理は誰でも気になると思います。

せっかく良い物でも目に付かなかったり、分かりづらかったりするとお客様への印象も薄いです。今後も初めて利用されるお客様目線での案内表示を心掛けます。利用される方に「であいの里と言ったらこれだね」と言ってもらえるものを提供できるお店作りをしていきます。

▲おすすめの2点を強調してみました

鳥海 竜飛
Ryuto Toriumi

窪川（本庁）　四万十川の川遊びインストラクターと観光振興

四万十川財団大人塾

四万十川で活動していくなかで、四万十川財団と一緒に活動させていただく機会も多いです。四万十川財団とは、四万十川の保全と地域の振興を目的とした活動をする組織です。今年から「四万十川大人塾」という1年を通して四万十川の川漁を一から学ぶ講座も開かれていて、手伝わせていただくこともありました。

第1回目は鰻漁の延縄（はえなわ）、第2回目は川エビのエビ筒の講座で道具づくりから仕掛けのやり方、引き上げて食べるところまでフルコースで体験をさせていただきました。毎回、四万十川財団公認の川の専門家である「リバーマスター」の方が講師で来てくださるので、昔ながらの知恵や独自の経験談など、とても面白い話が聞けます。

延縄仕掛け中

川エビの塩焼き

この大人塾で初めてエビ漁を行い、初めて川エビを食べました。外はパリッと中はプリッとした食感で、川風味に塩気がきいて美味しかったです。さらに、川で活動して、そのまま川原で食べたのもあり、最高に贅沢な時間を堪能することもできました。

四万十川財団では川での活動やイベント、環境学習など活発的に活動をしていて、関わる度に発見があり、すごく勉強をさせていただいています。勉強した成果を活かし、今後の活動・イベント開催等を進めていきます。乞うご期待ください。

佐藤 直人
Naoto Sato

十和地域振興局　四万十の風土を活かした農業の展開

農福連携

皆さん「自立支援」という言葉をご存知でしょうか。簡単に説明すると、一度社会に出て人間関係がうまくいかず引きこもってしまった方などが、もう一度社会に復帰できるようにサポートをしていく活動です。私もこれまで辛く悔しい経験がありました。そうした方が一人でもいなくなる世の中にしていきたいと考えています。

そしてこの四万十町の自然豊かな環境のもと、共に畑仕事をすることによって、自然と元の自分に近づいていけるのではないかと思います。

私はそうした方を受け入れていく農家になるため、現在カウンセリングや心理学を勉強しています。そして8月には勉強のため、農福連携に力を入れている安芸福祉保健所へ訪問しました。担当者はすごく気さくな方で、「農福連携の実現には何より連携が大事」と熱く語ってくださりました。

この取り組みは自殺対策から始まったそうですが、人を助けたいという思いが広がっていき、現在では地域全体に連携が出来たそうです。「一人の為にした事が、いつの間にか繋がっていった。気が付けばこれが地域おこしになっていた」とのこと。

不安はたくさんありますが、今後このような取り組みをしていきたいと思っています。皆さんに協力をお願いすることもあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いします。

視察の様子

作業スペース

四万十町のココがスキ！

みんなのお気に入りをご紹介！

下津井のお茶堂

毎年８月１日～21日の午前中、参拝された方に飲み物やお菓子の接待をしています。当番は集落の方が交代で行っています。見晴らしのいい場所ですので、来年ぜひ立ち寄ってみてください！（窪田 純一）

おちょぼ羊羹

よしだや羊羹の「おちょぼ羊羹」は、こだわりの小豆のちょうど良い甘さと一口サイズで食べやすいのが魅力です。お土産としてもオススメの逸品。ぜひ、食べてみてください。（鳥海 竜飛）

小貝組

私の住んでいる小貝の集落で草刈りをしたときの様子です。気さくな方ばかりで、いつも楽しく過ごしています。コロナの影響で飲み会が延期になっているので、早く終息するのを願うばかりです。（佐藤 直人）

編集後記

暑い日が続きますが、９月になると季節がぐっと秋に近づいた気がします。もうしばらくすると気温も下がって過ごしやすくなりそうですね。夏が終わってしまうのは寂しいですが、そろそろひんやりした空気が恋しい頃です。秋の楽しみを考えつつ、この季節を楽しみましょう(＾＾)

さて、この協力隊だよりの編集を引き継いでもうすぐ２年になります。同じ協力隊と言えど、普段関わることがほとんど無い隊員も多いなか皆さんの記事を読み、こんなことをしているんだな、私も頑張らなきゃなと励まされることも多いです。

限られた期間ではありますが、私も協力隊としてできることを精一杯やっていきたいと思います。

（編集：吉岡 亜紀）

四万十町地域おこし協力隊の活動は
ホームページ、SNSにて発信中！

協力隊公式HP　Facebook　Instagram

窪川　大正　十和

四万十町では現在18名の協力隊が活躍しています。

協力隊へのご連絡はこちらまで

四万十町役場 にぎわい創出課
四万十町琴平町16番17号（西庁舎2F）
Mail: 103050@town.shimanto.lg.jp　Tel: 0880-22-3281